



入場無料

困難を抱える子どもたちとのかかわり



—土井ホームの実践から—

私たち弁護士が担当する事件の中で、虐待・非行・発達障害などの困難を抱える子どもたちに出会うケースは非常に多く、子どもたちと関わる際にその対応に苦慮し、戸惑うことは少なくありません。そこで、この度、このような子どもたちと関わる際に知っておくべきことなどを学びたいと、「土井ホーム」代表である土井高徳さんを講師に招き、講演会を企画しました。

非行少年をはじめ、社会において「困った子」として排除される子供たちの多くは、実は支援を必要とする「困っている子」です。しかし、困難を抱える子どもたちに寄り添う支援や、安心して生活できる居場所は十分に用意されていません。そうした現状の中で、「土井ホーム」は、困難を抱える子どもたちを支え、受け入れ続けてきた貴重な存在です。

困難を抱える子どもたちを排除するのではなく、ともに生きていくためには何が必要なのか。私たちには何ができるのか。土井ホームで、子どもたちと深く関わり、さまざまな問題を乗り越えられてきた土井さんから、そのご経験を伺い、土井ホームの実践から子どもたちとのかかわりについて学びたいと思います。

土井さんの講演は、専門的でありながら、大変わかりやすいと評判です。笑いと涙っぱいの講演になると思いますので、奮ってご参加ください。

講師 土井 高徳（どい たかのり）さん

「土井ホーム」代表。学術博士。保護司。児童虐待、非行、発達障害など様々な問題を抱える子どもたちを専門里親として預かり、生活を共にするファミリーホーム（小規模住居型自動養育事業）「土井ホーム」を30年以上にわたり運営し、医師や臨床心理士らと連携して子どもを支援する日本で唯一の「治療的里親」として知られている。「土井ホーム」では、社会的養護を必要とする子どもたちに限らず、ホームレスや薬物依存者、少年院や刑務所から社会復帰をめざす若者など社会から排除された行き場のない人たちを広く受け入れている。「神様からの贈り物 里親・土井ホームの子どもたち 希望と回復の物語」（福村出版）、「思春期の子に、本当に手を焼いたときの処方箋33」（小学館）など著書多数。

日時:2016年3月28日(月)

午後6:00~8:00

会場:大阪弁護士会館

10階 1001・1002 会議室

定員:申込先着順 130名



- * 京阪中之島線「なにわ橋駅」下車出口1から徒歩約5分
- * 地下鉄・京阪本線「淀屋橋駅」下車 1号出口から徒歩10分
- * 地下鉄・京阪本線「北浜駅」下車 26号階段から徒歩約7分

住所: 大阪市北区西天満1-1-2-5

主催 大阪弁護士会

一時保育サービスを実施します（要予約・無料）

[対象] 原則、首がすわっている乳児～未就学児

[時間] 講演会開始15分前から終了15分後まで

※ 利用を希望される方は、講演会の1週間前までに子どもの権利委員会担当事務局まで
電話（06-6364-1227）でお申し込みください。

※ 定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

***** 参加申込書（FAX:06 - 6364 -7477）*****

3/28 「困難を抱える子どもたちとのかかわり」講演会に

参加します。

氏名： _____（電話番号： _____）

※ 記載していただいた個人情報は、定員に達した際にお断りのご連絡を差しあげる等イベントの運営のために利用します。

◆ 回答先：子どもの権利委員会 担当事務局 行

（担当事務局：委員会部人権課／TEL:06-6364-1227）